

中学新人ハンド

添市民体育館で行われ、男子決勝は浦西が26-23で美東を破って、5年ぶり8度目の頂点に立った。

女子決勝は港川が神森を25-22で下し、11年ぶり2度目の栄冠に輝いた。

男女優勝校は全国選手権大会(3月25-29日・富山)の出場権を得た。

優勝校を除く、男女4強以上の3チームは2月1日に八重瀬町東風平体育館でリーグ戦を行い、上位2チームが九州選抜大会(3月21-23日・熊本)に出場する。

# 浦西 男子 粘って奪冠

## 攻守に強気延長制す

第2延長までもつれた男子決勝は、粘りに勝る浦西が、5年ぶりに王座に返り咲いた。

### ハイライト

前半の有利な展開も後半は一転、2年ぶりの頂点を目指す美東の猛攻を受けて、終盤に追い付かれた。

延長戦を前に多和田真尚監督は「数的不利な状況では勝機はない。無駄なファウルで退場者を出さないよう、落ち着いてプレーを」と指示を出した。

延長は1-1で勝負がつかず。第2延長の1分に棚原素人が勝ち越し弾。焦る美東が退場者を出し、逆に数的優位に立つと、その後はリズムに乗った攻撃で、比嘉麻人、井口元太が連続得点して美東を突き放した。

昨年8月の秋季大会では3回戦敗退。ノースードから頂点に上り詰めた指揮官は「GK新里輝と比嘉が強気なプレーで引張ってくれた」と勝利の立役者を挙げた。2カ月前に2人の名を挙げた。2カ月前に野球部から再入部した守護神は「自分が止めて流れを委ねる」と闘志をきざしゴールを守り強く宣言した。(花城克俊)

▽男子第3シード決定戦	神 森 31	2011	9	13	22	具志川
▽同決勝	浦 西 26	4	1	8	13	8
▽女子第3シード決定戦	松 島 16	11	5	7	11	具志川
▽同決勝	港 川 25	10	15	7	22	神 森



男子決勝 浦西-美東 後半、左サイドからシュートを決める浦西の比嘉麻人(伊藤桃子撮影)

# 港川 女子 11年ぶりV

## 守り徹底 逃げ切る

「守りの徹底」を掲げた港川が、神森の追い上げを振り切り、11年ぶりの栄冠に輝いた。

問題は、もっと守りの意識を高めたい」と気を引き締めた。

女子決勝 港川-神森 後半、シュートを放つ港川の真座あすか



前半は港川の堅守が光った。前線で早いプレスを仕掛ける「1・2・3ディフェンス」で相手からボールを奪うと、真座あすか主将とエース金城ありきの両サウスボーが攻撃の起点となつて得点を重ねた。

だが後半は劣勢となった。前半7得点の金城が徹底マークされると、攻撃のリズムが乱れ、最大11点あった点差が、残り1分で2点差まで詰め寄られた。

チームの危機を救ったのが、U16日本代表候補の金城。東京合宿のため、準決勝まで戦列を離れたエース